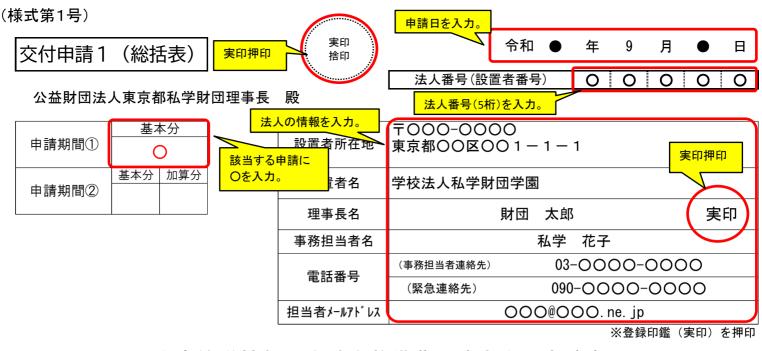
私立高等学校新入生端末整備費助成事業 交付申請書様式記入例について (申請期間①用)

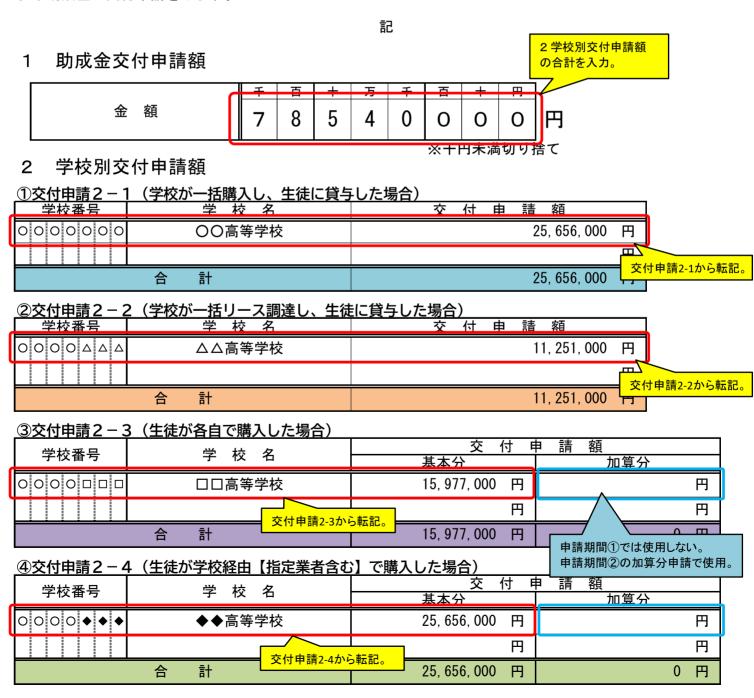
○各書類の記入例において、囲みの色は下記を表しています。

・・・ 入力または押印する欄・・・ 使用しない又は注記欄・・・ 総括表へ転記する欄



私立高等学校新入生端末整備費助成金交付申請書

公益財団法人東京都私学財団私立高等学校端末整備費助成金交付要綱第4条の規定に基づき、下記のと おり助成金の交付申請をします。



学校	ごとに作成してください。		学校名	□□高等学校				
于仅	CCICI FIXO C VICEVIO		学校番号					
マ 新λ生宝昌乃	び助成対象生徒数	小小子记						
		6年4月1日時点の令和6 生の実員を入力。	年4月1日時点の令和6年度 適宜、行を追加して作成してくた					
	机人	三の美質を入力。	J	端末利用開始時点からの				
申請時点の学年		事象発生時期	人数	在学期間残り(月単位) ※保守等申請の場合、注意				
	新入生	令和6年4月	300					
以降の行は該当する生役	走がいる場合、入力。	令和6年6月 令和6年9月	1 5	34か月 31か月				
	転入生	つ和り牛9万	3	31///				
高校1年生								
		令和6年8月	1	0か月				
	退学者等							
		令和6年1月	1	27か月 ※1年生の1月帰国				
□ 京歩 2 2 年 生	転入生	令和6年1月	1	15か月 ※2年生の1月転入				
高校2,3年生	※留学帰国者含む	令和6年4月	2	24か月 ※2年生の4月転入				
2.71		令和6年4月	2	24か月 ※2年生の4月転入				
合計	本欄は、申請対象と	-+\	313					
(会計)_(混学法	≥ オペ (常は、中間とり多く)	【なる購入致または (←助成対象生法数				
(合計) - (退学者 ※重複カウントを除く)	し	.なる賄人致まだは (312	←助成対象生徒数 (由請可能 ト限生徒数)				
(合計) - (退学者 ※重複カウントを除く)	人数の上限です。 交付申請2-1~2-4	4における購入数等と	312	←助成対象生徒数 (申請可能上限生徒数)				
※重複カウントを除くが	した。 人数の上限です。	4における購入数等と	312					
※重複カウントを除ぐが	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの	4における購入数等と	312					
※重複カウントを除くが	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの	4における購入数等とかではありません。		(申請可能上限生徒数)				
※重複カウントを除ぐが	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの	4における購入数等と のではありません。		(申請可能上限生徒数) 宝、行を追加して作成してください				
※重複カウントを除ぐが 【申請期間②】 申請期間①以降の	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適宜	(申請可能上限生徒数) 室、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの				
※重複カウントを除くが	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの	4における購入数等とかではありません。		(申請可能上限生徒数) 宝、行を追加して作成してください				
※重複カウントを除ぐが 【申請期間②】 申請期間①以降の	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適宜	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				
※重複カウントを除ぐが 【申請期間②】 申請期間①以降の	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適宜	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				
※重複カウントを除くが 【申請期間②】 申請期間①以降の 申請時点の学年	人数の上限です。 交付申請2-1〜2-4 必ずしも一致するもの の変動状況	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適宜	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				
※重複カウントを除ぐが 【申請期間②】 申請期間①以降の	大数の上限です。 交付申請2-1〜2-4 必ずしも一致するもの の変動状況 転入生	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適宜	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				
※重複カウントを除くが 【申請期間②】 申請期間①以降の 申請時点の学年	人数の上限です。 交付申請2-1〜2-4 必ずしも一致するもの の変動状況	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適宜	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				
※重複カウントを除くが 【申請期間②】 申請期間①以降の 申請時点の学年	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの の変動状況 転入生 退学者等	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適宜	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				
※重複カウントを除くが 【申請期間②】 申請期間①以降の 申請時点の学年	大数の上限です。 交付申請2-1〜2-4 必ずしも一致するもの の変動状況 転入生 退学者等 転入生	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適宜	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				
※重複カウントを除ぐが 【申請期間②】 申請期間①以降の 申請時点の学年 高校1年生	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの の変動状況 転入生 退学者等	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適宜	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				
※重複カウントを除ぐが 【申請期間②】 申請期間①以降の 申請時点の学年 高校1年生 高校2,3年生 合計	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの の変動状況 転入生 退学者等 転入生 ※留学帰国者含む	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適宜	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				
※重複カウントを除ぐが 【申請期間②】 申請期間①以降の 申請時点の学年 高校1年生 高校2,3年生 合計 (合計)-(退学者	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの の変動状況 転入生 退学者等 転入生 ※留学帰国者含む	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適 国	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				
※重複カウントを除くが 【申請期間②】 申請期間①以降の 申請時点の学年 高校1年生 高校2,3年生 合計 (合計)-(退学者 ※重複カウントを除くが	大数の上限です。 交付申請2-1~2-4 必ずしも一致するもの の変動状況 転入生 退学者等 転入生 ※留学帰国者含む	4における購入数等と かではありません。 申請期間②で入力 してください。	※適 国	(申請可能上限生徒数) 主、行を追加して作成してください 端末利用開始時点からの 在学期間残り (月単位)				

総括表 附票

学校名、学校番号(7桁)を入力。

交付申請2-1 (学校が一括購入した場合)



学校名	〇〇高等学校						
学校番号	000000						
<u>- 6</u>	学校名、学校番号(7桁)を入力。						

3 学校別交付申請額内訳表

本様_{該当する申請にOを入力。} ド習用各種端末機器について、1人1台端末の教育環境を実現するために必要であることを、成立して記めます。

申請期間①基本分 〇 甲請期間②基本分

(単位:円)

機器構成	購入 項目	1台当たり 端末機器等 購入額 (税込)	1台当たり 助成対象 経費限度額 (A)	控除額 ▲30,000円 (B)	購入数	学校負担額 (D)=(A-B) * C	有償貸与料 (E)	助成金 交付申請額 (D-E)	
	/-\PC	138, 000	対象物品等および	び1台当たりの	/			/	
	マウス	4, 006	金額を入力。						
1	保証料	9, 000	※物品名は、機種わかるように入		/ _[該当するセットの			
				This perfection		購入数を入力。			
	合計	151, 000	100, 000	▲ 30, 000	151	10, 570, 000			
	タフ゛レット (128G)	59, 800							
	マウス	1, 000	セット金額が						
2	キーボード型カバー	14, 800	下の場合、対	対象外と表					
2	タッチへ [°] ン	12, 800	<u> </u>						
	保証料	9, 000							
	合計	97, 400	97, 400	▲ 30, 000	168	11, 323, 200			
	タブ゛レット(64G)	49, 800							
	マウス	1, 000							
3	キーホ゛ート゛	1, 000							
3	タッチへ [°] ン	14, 000							
	保証料	9, 000							
	合計	74, 800	74, 800	▲ 30, 000	84	3, 763, 200			
- June 1	当点でする			合計	403	25, 656, 400	0	25,656,000	
	<mark>セット単位で入力。</mark> 闌が足りない場合は追加								

4 助成金交付申請に係る確認事項 (確認後、□にレ点を付してください。)

内容を確認し、該当するボック スにチェックを入力。

してください。

<mark>、</mark>上ついて設置者として全て確認したことを認めます。

本様式に記載した全ての端末機器は、本校における生徒の教育及び学習に使用しており、その目的を達成するために必要な機能を有しているものであること。

助成申請の対象とする全ての新入生について、漏れなく記載したものであること。

学校が依頼した事業者から、端末機器購入額が確認できる契約書等を漏れなく徴取し、かつ、その金額を誤りなく本様式に記載したものであること。

助成対象範囲(①パソコン・タブレット等各種端末機器、②キーボード・マウス等の端末機器に係る各種周辺機器、 ③端末機器購入時に設定した、使用する生徒の在学期間中の保守・保証料、④その他特に必要と認められる経費) 以外の品目について、上記の端末機器購入額に**含まれていない**こと。

総括表へ転記。 ※申請額は 千円未満切捨

交付申請2-2 (学校が一括リース調達した場合)



 学校名
 △△高等学校

 学校番号
 〇〇〇△△△△

学校名、学校番号(7桁)を入力。

3 学校別交付申請額内訳表

本様式で申請する全ての学習用各種端末機器について、1人1台端末の教育環境を実現するために必要であることを、設置者として認めます。

該当する申請に〇を入力。 申請期間①基本分 O 甲請期間②基本分 (単位:円) セット単位で入力。 欄が足りない場合は 1台当たり 1台当たり 助成金 リース リース料 控除額 追加してください。 端末機器等 助成対象 学校負担額 有償貸与料 ▲30,000円 (本年度支払分) 交付申請額 台数 経費限度額 リース額 総額 成 (A) (B) (C) = A/B $(F) = (D-E) \times B$ (G) (F-G)(D) (E) 31, 619, 400 10, 539, 800 151 69,800 69,800 **1** 30, 000 6,009,800 1 27, 619, 200 168 54, 800 54, 800 9, 206, 400 **A** 30, 000 4, 166, 400 10, 785, 600 3 3, 595, 200 84 42,800 42, 800 1, 075, 200 **1** 30, 000 対象となる経費のリース 対象となる経費のリース セット金額が3万円以下 23, 341, 400 11, 251, 400 11,251,000 料総額を入力。 料のうち、本年度支払分 の場合、対象外と表示さ ※対象外経費は除いて の金額及び台数を入力。 れます。 内容の概要> ください。 主なリース品目 リース年数 リース料に含まれる付加サービス内容 総括表へ転記。 ※申請額は ノートPC 千円未満切捨 1 マウス リース品引揚費用、データ消去作業及び証明 3年 発行、各種設定、修理及び故障対応 リース年数 主なリース品目 リース料に含まれる付加サービス内容 タブ レット (128G) 2 マウス リース品引揚費用、データ消去作業及び証明 3年 発行、各種設定、修理及び故障対応 キーボード型カバー タッチペン リース年数 リース料に含まれる付加サービス内容 主なリース品目 タブレット(64G) 3 マウス リース品引揚費用、データ消去作業及び証明 3年 発行、各種設定、修理及び故障対応 キーボード タッチペン リースする物品について、セット別に入力。 保証料等リース内容に含まれる ※物品名は、機種名等がわかるように入力 付加サービスの内容を入力。

4 <u>助成金交付申請に係る</u>確認事項 (確認後、□にレ点を付してください。)

内容を確認し、該当するボック

してください。

申請了「グストルース」ついて設置者として全て確認したことを認めます。

本様式に記載した全ての端末機器は、本校における生徒の教育及び学習に使用しており、 その目的を達成するために必要な機能を有しているものであること。

助成申請の対象とする全ての新入生について、漏れなく記載したものであること。

学校が依頼した事業者から、端末機器リース金額が確認できる契約書等を漏れなく徴取し、かつ、その金額を誤りなく本様式に記載したものであること。

助成対象範囲(①パソコン・タブレット等各種端末機器、②キーボード・マウス等の端末機器に係る 各種周辺機器、③端末機器購入時に設定した、使用する生徒の在学期間中の保守・保証料、④その他特に 必要と認められる経費)**以外の品目**について、上記の端末機器リース金額に**含まれていない**こと。

交付申請2-3(生徒が各自で購入した場合)

A CONTRACTOR OF THE PARTY OF TH	
実印	
捨印	
実印押日	印

学校名	□□高等学校						
学校番号	0	0	O	0			

学校名、学校番号(7桁)を入力。

3 学校別交付申請額内訳表

本様式で申請する全ての学習用各種とを、設置者として認めます。

対応する申請期 間に〇を入力。

ついて、1人1台端末の教育環境を実現するために必要であるこ

申請期間①基本分	0
申請期間②加算分	

(単位:円)

			学校が実施する	る、生徒(保護者)	の端末購入等	等費用への	負担軽減の金	金額
	生徒別		基本分	加算分				
生徒	1台当たり 端末機器等 購入額	1台当たり 助成対象 経費限度額	控除額 ▲30,000円	軽減額	①所得が一定 基準以下の世帯		①・②いずれ も該当無	軽減額合計 (基本分+加算分)
	(税込)	(A)	(B)	(A-B)	30,000円	15,000円		
1	128, 000	100, 000	▲ 30, 000	70, 000				70, 000
2	128, 000	100, 000	▲ 30, 000	70, 000				70, 000
3	128, 000	100, 000	30_000	70, 000				70, 000
4	90, 000	90, 000	セット金額が3の場合、対象					60, 000
5	64, 800	64, 800		34, 800				34, 800
6	64, 800	64, 800	▲ 30,000	34, 800				34, 800
7	64, 800	64, 800	▲ 30,000	34, 800				34, 800
8	32, 600	32, 600	▲ 30, 000	2, 600				2, 600
400	90, 000	90, 000	A 30, 000	60, 000				60, 000
401	90, 000	90, 000	A 30, 000	60, 000				60, 000
402	90, 000	90, 000	A 30, 000	60, 000				60, 000
403	64. 800	64, 800	▲ 30, 000	34, 800				34, 800
603人	31, 943, 4	28, 067, 400	1 2, 090, 000	15, 977, 400		合計0人は使用しません	合計0人	15, 977, 400
生徒の個人情報 しないようお願い		^{徒ごとの対} 費を入力。	付申請額	15,977,000		加算分申請時间		15,977,000

4 助成全交付申請に係る確認事項 (確認後、□にレ点を付してください。)

内容を確認し、該当するボックス にチェックを入力。

ついて設置者として全て確認したことを認めます。

総括表へ転記。 ※申請額は 千円未満切捨

レ	本様式に記載した全ての端末機器は、本校における生徒の教育及び学習に使用しており、
	その目的を達成するために必要な機能を有しているものであること。

助成申請の対象とする全ての新入生について、漏れなく記載したものであること。

助成申請の対象とする全ての新入生(又はその保護者)から、端末機器購入額が確認できる領収書等を漏れなく徴取し、かつ、その金額を誤りなく本様式に記載したものであること。

助成対象範囲(①パソコン・タブレット等各種端末機器、②キーボード・マウス等の端末機器に係る各種周辺機器、 ③端末機器購入時に設定した、使用する生徒の在学期間中の保守・保証料、④その他特に必要と認められる経費) 以外の品目について、上記の端末機器購入額に**含まれていない**こと。

①**所得が一定基準以下の世帯に係る学校の追加負担軽減額**に関し、該当する全ての新入生について、課税証明書等の公的な書類に基づき、その世帯所得状況を適切に確認したこと。

<u>また、当該生徒に対して、30.000円の負担軽減を確実に行ったこと。</u>

加算分については、申請期間①で負担軽減を実施していない場合、チェックする必要はありません。

②**多子世帯に除る学校の追加負担軽減額**に関し、該当ずる全ての新人生について、住民票等の公的な書類に基づき、 その世帯状況を適切に確認したこと。また、当該生徒に対して、15,000円の負担軽減を確実に行ったこと。

本申請に際し、各新入生より徴取した個人情報等を含む重要な書類等について、個人情報保護等に関する各学校の規程に基づき、適切に管理・保管していること。

交付申請2-4(生徒が学校経由で購入した場合)



学校名	◆◆高等学校
学校番号	0000 + + +

学校名、学校番号(7桁)を入力。

3 学校別交付申請額内訳表

対応する申請期 間に〇を入力。

|について、1人1台端末の教育環境を実現するために必要であることを、

本様式で申請する全ての学習用 設置者として認めます<u>。</u>

申請期間①基本分 \mathbf{O} 申請期間2加算分

(単位・四)

総括表へ転記。

※申請額は 千円未満切捨

(単位:円)											
			Ä	^{学校が実施す}	る、生	徒(保護者)の対	端末購入等費用~	への負担軽減	の金額		
機		1台当たり	4 /5 M/ 4 11	基本:			加算:	分	軽減額合計		
機器構成	購入 項目	端末機器等 購入額	1台当たり 助成対象	控除額	購入	軽減額	①所得が一定基準 以下の世帯	②多子世帯	(基本分十加算分)		
成		(税込)	経費限度額 (A)	▲30,000円 (B)	数 (C)	$(A-B) \times C$	30,000円	15,000円	(基本分十加异分)		
	ノートPC	138, 000			<u> </u>						
	マウス	4, 000	対象物品等金額を入力。	および1台当たりの	<mark>ກ</mark> /						
	保証料	9, 000	※物品名は	、機種名等が		該当するセットの					
1			わかるよう	に入力してください	,\ ₀	購入数を入力。					
					/ 5						
	計	151, 000	100, 000	▲ 30, 000	151	10, 570, 000	合計0人 0	合計0人 0	10, 570, 000		
	タフ゛レット (128G)	59, 800			/						
	マウス	1, 000		ット金額が3万円以下 場合、対象外と表示			申請期間①では使用				
	キーボード型カバー	14, 800	されます。	」永介℃衣小			申請期間②の加算分申請時に使用。				
2	タッチへ [°] ン	12, 800									
	保証料	9, 000									
	計	97, 400	97, 400	▲ 30, 000	168	11, 323, 200	合計0人 0	合計0人 0	11, 323, 200		
	タフ゛レット (64G)	49, 800			/						
	マウス	1, 000									
	キーホ゛ート゛	1, 000									
3	タッチへ [°] ン	14, 000									
	保証料	9, 000									
	計	74, 800	74, 800	▲ 30, 000	84	3, 763, 200	合計0人 0	合計0人 0	3, 763, 200		
				合計	403	25, 656, 400	合計0人 0	合計0人 0	25, 656, 400		
助成金交付申請額 25,656,000 0							25,656,000				
			•						N		

4

<mark>内容を確認し、該当するボックス 確認事項 (確認後、□にレ点を付してください。</mark>)

中国・コルソ、下記事項について設置者として全て確認したことを認めます。

本様式に記載した全ての端末機器は、本校における生徒の教育及び学習に使用しており、 その目的を達成するために必要な機能を有しているものであること。

助成申請の対象とする全ての新入生について、漏れなく記載したものであること。

学校が依頼した事業者から、端末機器購入額が確認できる契約書等を漏れなく徴取し、 かつ、その金額を誤りなく本様式に記載したものであること。

助成対象範囲(①パソコン・タブレット等各種端末機器、②キーボード・マウス等の端末機器に係る各種周辺機器、 ③端末機器購入時に設定した、使用する生徒の在学期間中の保守・保証料、④その他特に必要と認められる経費) 以外の品目について、上記の端末機器購入額に**含まれていない**こと。

①**所得が一定基準以下の世帯に係る学校の追加負担軽減額**に関し、該当する全ての新入生について、課税証明書等の 公的な書類に基づき、その世帯所得状況を適切に確認したこと。

また、当該生徒に対して、30 000円の負担軽減を確実に行ったこと

加算分については、申請期間①で負担軽減を実施していない場合、チェックする必要はありません。

(2) 多子世帯に除る字校の追加負担軽減額に関し、該当する全ての新人生について、住民票等の公的な書類に基づき、 その世帯状況を適切に確認したこと。また、当該生徒に対して、15,000円の負担軽減を確実に行ったこと。

本申請に際し、各生徒より徴取した個人情報等を含む重要な書類等について、 個人情報保護等に関する各学校の規程に基づき、適切に管理・保管していること。